

三中だより

令和5年7月19日(水)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和5年度第4号

大田区中央4-12-8

一学期も終盤、いよいよ終業式を迎えようとしています。始業式と入学式から始まり、クラスの団結を深めた運動会、そして定期考査と、振り返ってみると様々な行事がありました。そしてその、さまざまな行事を通して生徒たちは、クラスの絆を深め、自己の学習を積み重ねて力をつけてきた一学期であったと思います。4月に比べて、クラスで共に過ごす友達との関係も近くなっていることに、この時期に改めて気づくこともあるでしょう。また、日々使っている教科書を見返すと、一冊の半分近くまで進んでいることに気が付くなど、学習の積み重ねも実感することができるところでしょう。こうしてみると、これまで過ごしてきた一学期の中で得た知識や体力が、自分自身の考えや行動を一回り成長させているということがわかります。

さて、ここまで過ごしてきた学校生活の中で、自ら積極的に取り組んだ場面が、それぞれにあったことと思います。その場面は行事の中かもしれません。また、授業中を思い浮かべる人もいるかもしれません。また、部活動、友だちとの人間関係と、人それぞれでしょう。しかし、どの人も必ず自分から考え、取り組んだ瞬間があったことでしょう。こうした熱中する時間に思い当たれたとしたならば、それは充実したすばらしい時間を過ごせた証なのです。

そもそも、どうして人は、ものごとに熱中するのでしょうか。それはきっと、その取り組みの内容がとてもおもしろいからなのでしょう。「これは、やってみたらおもしろそうだな」「こ

れは、やってみたらおもしろそうだな」「これやってみたらどうなるのだろう」という予感や期待感が、熱中させる原動力となっているのです。わからないことがわかり、正しく真実を理解することは、理屈抜きに楽しいものです。そして、こうした気持ちを、学校生活で体験すると、その快感を覚えた経験は、その後生涯を通して味わおうと今後の自分の生活を生き生きとさせてくれます。つまり、学校生活における体験を通して、この好奇心の芽を見つけることは、生涯にわたって自己を充実させる大切な土台づくりをしていることなのです。

「何か謎があって、その謎を調べないと気が済まないという気持ち。この好奇心を持ち続けている限り、人間は生き甲斐を感じるのではないか」これは、鉄腕アトムというSF作品を描いた漫画家の手塚治虫先生の言葉です。1952年に発表された漫画は、とても未来的で今から70年も前に、こんな未来を描いていたということに驚きます。その完成された作品が生まれる原動力も、「どうなっていくのだろう」というわくわくとした好奇心だったのだと予想できます。

学校は、この7月20日の終業式をもって、長期休業となります。生徒たちには、一学期の学校生活を振り返り、たくさんの好奇心を育む機会とふれあってほしいと思います。それが、次への希望となることと思います。地域のみなさま、保護者のみなさま、一学期の学校生活へのご理解とご協力を賜りまして大変ありがとうございました。この長期休業中の生徒たちの健全な育成への見守りをよろしくお願いいたします。2学期に、また学校生活をともに過ごせることを楽しみにしております。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	9/5(火)、9/12(火)、9/19(火)
鳥海 真里	9/6(水)、9/13(水)、9/20(水)、9/27(水)
田中 典子	9/11(月)、9/15(金)、9/22(金)、9/28(金)

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

9月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
			第2回定期考査 第二日	第2回定期考査 第一日				①～⑤ 職員会議	校内研修会	生徒会長・役員選挙	敬老の日			土曜授業公開①～③ ③ 情報モラル講習会		区陸上選手権大会於駒沢競技場	地域防災訓練(1・2) 振替休業日(3)	修学旅行(3) 終		修学旅行(3) 始		安全指導・車山移動教室保護者会(16:00)	中央委員会	専門委員会		漢字検定集金(8:30)			始業式・避難訓練(広域避難訓練)

一学期をふり返って

2年

私は一学期をふり返って特に印象に残っているものが三つあります。

一つ目は、離任式です。新しい先生が来た喜びの反面、学校を去ってしまう先生方への悲しみも大きかったです。特に一年生の頃、お世話になっていた先生方だったので、覚悟はしていたものの、やっぱり悲しかったです。

二つ目は、生徒総会です。今年は私たちにとって、初のリモートでない生徒総会でした。去年一年間、ずっとリモートでやってきたので慣れないことも多く、今まで以上に緊張しました。

三つ目は、運動会です。学年種目の大縄跳びではクラスで回す人などについてたくさん考えました。その結果、練習の時の七回を大きく上回る十倍の七十回という結果を残せました。全員リレーではギリギリまで走順に悩みました。くやしい結果でしたが、クラスで団結できたと思います。運動会で特に印象に残っているのは選抜リレーです。ここで男女共に一位か二位をとれば優勝という、プレッシャーがすごい中での不安と緊張感はよく覚えています。

こうしてみると短くあっという間だったように感じます。何かの行事だけでなく、普段の学校生活も楽しいことが詰まった一学期でした。二学期は、合唱コンクールや普段の学校生活も今学期以上に楽しく過ごしていきたいです。



5月27日(土)の運動会では、各クラスともチームワークを発揮して、ベストを尽くし、思い出に残る行事となりました。

保護者のみなさまへ ~夏休みの生活について~ 生活指導主任

夏季休業中は、生徒が家庭や地域社会において自律的に時間を使い、豊かな体験やゆとりある生活を通して、自分を磨き、鍛えるための絶好の期間です。

しかし、学校から離れるこの期間は、生活が不規則になり、様々な問題行動や非行につながることで懸念されるとともに、児童・生徒が深刻な悩みを一人で抱え込んでしまうことが心配されます。

学校では、「不安や悩みを抱えたときに、身近にいる信頼できる大人に相談することの大切さ」「他の生徒がいじめや暴力等を受けていることや、集団等との関わりや交友関係に悩んでいることなどについて、見たり聞いたり相談を受けたりした場合は、直ちに教職員や保護者等の大人に伝えることの大切さ」について、指導を行っております。この夏休み、ご家庭でのコミュニケーションの充実をお図りいただき、生徒の心身の変化に目を向けていただければと思います。また、生徒に少しでも気になる様子が見られる場合は学校や相談機関に相談をお願いいたします。24時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン」、「性暴力救援ダイヤル」など、外部の相談機関の連絡先が記載された資料を夏休み前に生徒に配布いたしました。ぜひご活用ください。学校・家庭・地域で連携し、子どもが安心して相談できる環境の構築を行っていきたく思います。ご協力よろしくお願いいたします。

また、多くの生徒がスマートフォンなどでSNSを利用している現状です。学校では情報モラルについて、他者を傷付け、いじめとなるような発言を行うことのないように、またインターネットを通じてトラブルに巻き込まれないように、道徳の授業や外部講師を招いて開催したセーフティ教室などで繰り返し指導を行っております。一人1台貸与しておりますタブレット端末の使用の仕方についても同様です。インターネットの世界は大人の目に見えない部分も多いため、ご家庭でも日頃よりインターネットの使い方について話題にいただき、生徒への注意喚起を行っていただくなど、ご協力いただければ幸いです。

加えて、事故やトラブルに巻き込まれないように、外出の際には行先・目的・同行者・帰宅時間を必ず確認するようにお願いいたします。特に、夜間の外出は極力避けるようにし、防犯意識も高めていただければと思います。

さらに、近年は天候も変わりやすく、風水害も多く発生しています。ハザードマップや避難場所の確認など、防災についてもぜひ話し合う時間をとっていただければ幸いです。充実した夏休みを過ごし、一回り大きく成長した三中生が希望と意欲をもって2学期を迎えられることを願っています。